

2020年度栃木岳連クライミング強化選手選考規定について



2020年度の「国体/U-15/U-12」の栃木強化選手選考について以下のように規定します。
強化選手指定希望者は以下の規定に従ってください。

1. 全カテゴリー共通基準

- (1) 栃木県在住または勤務地が栃木県であること。
※国体成年のふるさと選手サポート事業対象者は除く。
- (2) 日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA、日山協）の選手登録をすること。
※令和2年度の選手登録は例年3月中旬頃から開始されます。
JMSCAのHPでご確認ください。
※各種公式大会に出場するにはA登録が必須です。また、A登録を行うには事前に倫理／ドーピング研修の受講が必須となります。
- (3) 選手選考のために開催する栃木県強化選手選考会 及び 指定する選考基準大会に出場すること。
 - ①栃木県強化選手選考会は、2020年度は4月26日（日）に壬生町総合運動場体育館にてボルダリングで実施予定。要項は3月中に栃木岳連HPに掲載予定。
 - ②選考基準大会は、選考の枠ごとに指定する。
- (4) 強化選手はリード種目の練習を必須とする。
- (5) 2020年度より、強化選手の年度区分は6月～翌年5月とする。

2. 選考カテゴリー

・強化指定A

JMSCA 主催の各種主要大会への参加補助
各種講習会・練習会の実施

- (1) 特別強化選手
2019年度・2020年度の日本代表選手及びユース日本代表選手。
- (2) 国体強化選手
成年男子（高校卒業以上）……3名 成年女子（高校卒業以上）……3名
少年男子（中3～高3）……3名 少年女子（中3～高3）……3名
- (3) U-15 指定強化選手（中1～中3）……男子3名、女子3名
- (4) U-12 指定強化選手（小4～小6）……男子3名、女子3名
- (5) その他
上記の選考から漏れた選手で、2019年度（2019年6月～2020年5月）のJMSCA主催

各種公式大会および準公式大会で優秀な成績をおさめた選手。

・強化指定 B

県内施設での講習会・練習会の実施

(1) TSCA ツアー2020 のランキングによる選考

栃木岳連 HP 上に掲載されている上記ツアー戦の要項を参照。

(2) その他

TSCA ツアー2020 及びボルダリング栃木カップ 2020 の結果から、強化指定 A/B の人数が少ない学年などについて適宜選考。

3. 強化指定 A 選考方法詳細

(1) 特別強化選手

2019 年度・2020 年度の日本代表選手及びユース日本代表選手。

※国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) 主催の国際大会を、栃木県特別強化選手の選考基準大会とする。

※栃木県山岳連盟が認める理由に限り、栃木県強化選手選考会の出場を免除する場合がある。

※特別強化選手が国体出場を希望する場合は、国体強化選手と重複する。

※有資格選手

檜崎智亜 檜崎明智 川又玲瑛 関口準太

(2) 国体強化選手

栃木県強化選手選考会 及び 指定する選考基準大会の出場者から、その成績によって選考する。

成年男子/女子 (高校卒業以上)

- ・ボルダリングジャパンカップ (ボルダリング)
- ・リードジャパンカップ (リード)
- ・ボルダリング栃木カップ 2020 (ボルダリング)

上記3大会の成績より選出。

※選考対象者が足りない場合は別途選考する場合がある。

少年男子/女子 (中3～高3)

- ・日本ユース選手権 2020 (リード)
- ・ボルダリング栃木カップ 2020 (ボルダリング)

上記2大会の栃木県内選手の順位より選出。

各選手の2種目総合の順位付けの方法は国体ブロック大会の順位算出方法に準ずる。

※同順位の場合は2大会の内容及び前年度公式大会の結果を考慮して順位付けをおこなう。

(3) U-15 指定強化選手 (中1～中3)

栃木県強化選手選考会 及び 指定する選考基準大会の出場者から、その成績によって選考する。

- ・日本ユース選手権 2020 (リード)
- ・ボルダリング栃木カップ 2020 (ボルダリング)

上記2大会の栃木県内選手の順位より選出。

各選手の2種目総合の順位付けの方法は国体ブロック大会の順位算出方法に準ずる。

※ユース選手権（リード）でユース B とユース C のルートが同じ場合は高度順、ルートが異なる場合は各カテゴリーでの順位順とする。

※同順位の場合は2大会の内容及び前年度公式大会の結果を考慮して順位付けをおこなう。

※ひとつの学年からは、男女それぞれ最大2名までとする。

※さらに中3については、国体少年男子／女子と合わせて男女それぞれ最大3名までとする。

※選考対象者が足りない場合は小6から選考する場合がある。

(4) U-12 指定強化選手（小4～小6）

栃木県強化選手選考会の出場者から、その成績によって選考する。

・ボルダリング栃木カップ 2020（ボルダリング）

※ひとつの学年からは、男女それぞれ最大2名までとする。

※さらに小6については、U-15 と合わせて男女それぞれ最大3名までとする。

(5) その他

上記の選考から漏れた選手で、2019年度（2019年6月～2020年5月）のJMSCA主催各種公式大会および準公式大会で優秀な成績をおさめた選手。

※有資格選手

寺川陽（ジュニアオリンピック 2019の結果による）

加藤頼斗（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

三竿莉平（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

小井田真唯（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

葛生真白（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

浅野敦志（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

竹村比呂（第6回関東小中学生選抜クライミング選手権大会の結果による）

齋藤正樹（ボルダリングジャパンカップ 2020の結果による）

※2020年3月のリードユース・5月のボルダリングユースの結果により有資格者が増える可能性あり。

4. 栃木県推薦選手

各県に出場人数の割り当てがある公式大会については、以下の基準で栃木県推薦選手を選考する。

(1) JOC ジュニアオリンピック栃木県推薦選手

日本ユース選手権 2020 の予選未通過者の中から選考。出場カテゴリーを問わず、より高い順位を得た者を上位とする。

※参加カテゴリー毎に決勝進出者数が異なった場合は、その比率は考慮する。

※同順位の場合は前年度公式大会の結果を考慮して順位付けをおこなう。

(2) 関東小中大会栃木県推薦選手

小学生及び中学生の強化選手の中から選考。

ボルダリング種目となった場合、ボルダリング栃木カップ 2020 の順位から選考。

リード種目となった場合、秋にリード種目の選考会を実施し、その順位から選考。

(3) 高校生選手権栃木県推薦選手

秋にリード種目の選考会を実施し、その順位から選考。

(4) その他

出場人数の割り当てを伴う公式大会が新設された場合は、上記の基準に基づいて同様に選考する。

以上